

提供日 令和5年4月24日(月)  
タイトル 県内で初めてTPVI(経皮的肺動脈弁置換術)を行いました  
担当 こども病院 会計課 企画・管財係 野中  
連絡先 こども病院 会計課 企画・管財係 野中  
TEL 054-247-6251(代表)



～ともにつくる 信頼と安心の医療～

## 県内で初めてTPVI(経皮的肺動脈弁置換術)を行いました

(要旨)

近年、ファロー四徴症※などの先天性心疾患は治療向上により、多くの患者が成人となり、生涯にわたり継続的な経過観察が必要になってきています。小児期の手術後は、肺動脈弁逆流が進んでくるため、従来は、開胸、人工心肺を用いた再建術(肺動脈弁置換術)が行われてきました。これに対して、海外では約20年前から、カテーテル治療が開発されてきました。

また、昨年から、カテーテルによる経皮的肺動脈弁置換術(TPVI)が日本でも認可されました。

静岡県立こども病院は、先天性心疾患領域での全国トップクラスのカテーテル治療経験・治療件数(全国第2位)であることから、TPVI 初期導入13施設のひとつに指定され、4月に2例の成功に至りました。

TPVIは、胸を切らずに肺動脈弁置換術が行えるため、身体的負担軽減や入院期間が大幅に短縮され、患者様の経済的・社会的負担も軽減されます。この治療法により、静岡県内はもとより、治療を必要とする全国各地の患者様にもこの治療をお届けできるようになりましたので、**TPVI治療について記者会見を開きます。**

※ファロー四徴症:肺に血液を流す肺動脈が小さく、チアノーゼをきたす先天性心疾患で、多くは乳児期～幼児期に外科手術が行われる。ただし、狭い肺動脈弁を拡げる処置のあと、経年的に弁の機能不全を生じて再手術が必要となる。

**今回の治療の内容・経過について、以下のとおり、会見を開きます。**  
**(それ以前の取材は、ご遠慮ください。)**

- 日時 令和5年5月1日(月) 13:00～
- 場所 静岡県立こども病院・L棟3階特別会議室
- 出席者  
院 長 坂本 喜三郎  
副 院 長 田中 靖彦  
IVRセンター長 金 成海  
循環器科医長 石垣 端彦